

平成29年度 事業報告 (概要報告)

		敬愛会 法人本部	
①	事業実績	法人運営の基盤強化 施設内監事監査(年2回開催) 外部会計士(定期的診断) 各種規程整備(改正・制定) 定款変更(社会福祉法改正に伴う変更) 理事会運営規程の改正 給与規程・経理規程変更 安全運転管理規程・自家用車業務使用規定の整備	
		施設工事 空調設備入替 2F2・3丁目居室及びホール・廊下の整備 館内電話通信設備の入れ替え整備・進入路センターライン引き 車両関係 利用者及び家族により車両寄贈・特養送迎車(ホンダNBOX)納車 取組制度 30年度からの外国人技能実習制度への取り組みを理事会にて了承	
②	会議	項目	実施
		理事会 7回(5月・6月・7月・9月・12月・2月・3月)開催 評議員会 2回(6月通常評議員会・3月臨時評議員会)開催 運営会議 毎月2回開催(24回) 拡大運営会議(次長職以上)3回	
③	運営	役員改選	役員(理事・監事任期満了に伴う次期候補者の選出) (5月28日) 役員改選 新理事・監事の承認(6月10日)評議員会・理事会 新役員就任6月10日(8名)理事長選任 執行理事選任 業務執行理事(施設長)の任命(6月10日)
		研修・事業	法令遵守研修会 職員全体会(5月) 外部評価 第三者外部評価機関(びーすけっと)によるグループホームの外部評価を実施 指導・監査 法人及び施設の定例指導監査は、法人は文書指導なし、施設は処遇関係において一部軽微な指導を受けた。
④	研修・事業	奨学金制度	奨学金制度の利用⇒ナゴノ福祉医療専門学校1名入学決定(76万)
		奨励金制度	法人内キャリアUP奨励金制度利用＝16件(35,945円) 法人内キャリアUP貸付金制度利用＝2件(199,600円)
⑤	その他	取組み報告	1、キャリアパス制度の開始に伴い、人事評価による任用及び俸給の整合性を図り、30年度の給与に反映。 2、介護人材育成事業所認定制度グレード3から2への取組継続。
		設備・備品	1、空調設備の入れ替え(事務室・ティサービス関係を除く) 2、阿木施設館内電話機器入れ替え実施。
		行事	シクラメン介護福祉フェア2017の開催
⑥	成果と課題	課題	1、空調設備の老朽化に伴う修理費用の増加を受け、順次の設備交換を実施。水蓄熱方式の空調(今回実施外エリア)については数年以内に入れ替えが必要であり、約2千万円を見込む。 2、介護報酬改定に伴う収入差額については、事業によってマイナス改定となっているため、各種加算要件を満たす様、体制の整備や人材育成に積極的な取り組みを必要とする。
		次年度の展望(30年度)	外国人技能実習制度への取組として、31年度来日予定者の面接と、受入に向けた準備期間として30年度を位置付け、併せて人材育成を目的とした人事評価やキャリア制度の充実を図る。

事業部門		特別養護老人ホーム シクラメン														
基本方針		利用者中心のサービス提供														
①	利用者中心のサービス提供	特養入退所状況表														
		入所者状況														
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
		入所者	1	5	1					2	1	3	2	5	20	
		内訳	在宅	1	1	1						1	1	2	3	6
			介護施設	1	3					1	1	2	2	2	2	12
			病院		1						1					2
		退所者状況														
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
		退所者	3	3				1		2	2	4	2	3	20	
内訳	施設	3	2				1	1	2	2	2	1	12			
	病院		1					1	2	2		2	8			
	入所施設															
平成 29 年度 入所目標稼働率 100% 実績 96.7%																
平成 29 年度 ショート目標稼働率 100% 実績 99.9% (空所利用含む)																
計 画						取 組 み										
②	地域福祉への貢献	1	ボランティア、福祉体験の受け入れ				①	坂下高校実習生受入 10月(2名,10日間) 阿木中教諭福祉実習 8月(1名) 恵那南高校福祉体験 6月(1名,4日間)								
		2	地域の方々も参加して頂ける行事の計画・実施				①	利用者家族、地域の方々を招き夏祭りを多事業所協力して開催。(ご家族 135人参加)								
		3	地域に開かれた施設づくり				①	シクラメン介護福祉フェア開催 11/12 ② ちやまげ会議 2回/年 (阿木地域包括支援ネットワーク会議)								
③	職員の資質の向上	1	計画に基づいた施設内の実施				①	施設内研修 14回実施 (前年度 11回) 累計参加職員数 228人。(前年度+26名)								
		2	介護福祉士資格取得の奨励				①	介護福祉士実務者研修 1名履修								
		3	中堅職員対象の研修会を実施 一般職員対象の研修会を実施				①	就業 4年～10年の職員対象 11月9名参加 就業 4年未満の職員対象 12月7名参加								
④	安全管理の徹底	1	非常時の対策と職員の行動				①	災害時対応研修の開催 9/21 (参加者 21名) 書庫・棚等の転倒・落下防止対策 (防災士)								
		2	利用者・ご家族が安心して過ごして頂ける様、苦情受付体制を整える				①	苦情受付 2件 利用者様本人より 1件 9/6 ショート利用者本人より 1件 3/13								
		3	利用者の健康管理 感染症の発症・蔓延予防				①	インフルエンザ発症 入所者 35名 (発症期間 2/4～2/15) ショート 1名 ② 感染対策会議の開催 5回/年 11/2, 12/5, 1/9, 2/9, 3/5 ③ 利用者健康診断実施 9/27 (レントゲン・血液検査 65名)								
⑤	健全経営の確保	1	施設介護支援計画書の作成				①	介護認定有効期間にあわせたケアプラン作成を実施。(カンファレンス 2回/月実施)								
		2	基準に沿った円滑な入所判定と手続き				①	入所判定会議の開催 6回/年 (第三者委員の参加分を含む)								
⑥	今年度の成果	1	ユニットの取り組みの継続				①	各ユニットの目標に向かい取り組み継続								
		2	記録マニュアル、書式の見直し				①	新様式に変更し業務の効率化に繋がる								
		3	新人看護士の育成				①	新人看護師の計画的な育成と研修への参加								
⑦	来年度への課題	1	人材の育成と定着				①	やりがいや意欲的になれる職場環境作り 自身の課題を客観的に捉えられる職員教育 職位の段階別研修の実施								

平成29年度 事業報告書

事業部門

阿木デイサービスセンター

利用者中心のサービス提供(利用実績含む)

【利用者数】													(単位:名)
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
支援1	6/	6/	8/	8/	8/	6/	7/	7/	8/	7/	7/	86/	
人数	24	24	34	29	34	22	25	25	27	25	25	323	
支援2	8/	8/	6/	9/	8/	8/	8/	9/	6/	8/	8/	95/	
人数	40	52	31	38	41	49	44	52	49	29	43	519	
介護1	24	23	25	25	25	27	26	26	24	25	25	21	
人数	1/	1/	1/	1/	2/	2/	2/	2/	1/	1/	1/	1	
延人数	71	84	84	94	06	07	03	84	86	82	77	77	
介護2	39	38	37	34	32	33	33	35	38	33	35	34	
人数	2/	3/	2/	2/	2/	2/	2/	2/	2/	2/	2/	2	
延人数	83	20	80	68	69	80	69	67	86	39	45	77	
介護3	10	11	11	13	15	13	14	12	12	10	10	14	
人数	7/	8/	8/	9/	1/	1/	9/	7/	8/	6/	6/	8	
延人数	8	3	9	8	04	03	4	9	2	8	0	3	
介護4	10	11	9/	10	9/	8/	9/	8/	9/	5/	6/	103/	
人数	/	/	9/	10	9/	8/	9/	8/	9/	5/	6/	103/	
延人数	76	84	80	90	70	50	56	49	49	55	34	37	
介護5	4/	4/	4/	4/	5/	6/	5/	4/	4/	4/	4/	52/	
人数	26	22	29	32	44	49	40	33	32	32	20	21	
延人数	14/	14/	14/	17/	16/	14/	15/	16/	17/	14/	15/	15/	
合計	64	76	65	67	75	71	69	77	76	56	68	78	
介護	88/	88/	87/	87/	87/	87/	87/	85/	87/	81/	79/	79/	
合計	64	70	66	68	69	68	66	61	63	57	54	59	
合計	0	0	9	8	6	9	2	2	5	6	6	5	
合計	102	102	101	104	103	101	102	101	104	95/	94/	94/	
合計	70	77	73	75	77	76	73	68	71	632	614	673	
合計	4	6	4	5	1	0	1	9	1			8550	

【曜日別利用述べ人数】 (単位:名)

日	月	火	水	木	金	土
0	1498	1403	1381	1395	1465	1408

*1日平均 27.7名(目標:29.1名) 12月~3月利用中止者(死亡・特養入所) 続く

*利用者のニーズに合わせて、入浴・機能訓練・余暇活動を提供

計 画

取組み

②	地域福祉への貢献	1	地域ニーズに沿ったサービスを充実させる	・介護予防事業「あんきならぶ」への参画
		2	地域交流の活用・活動に勤める	・ボランティアの受け入れ:11団体 ・見学者の受け入れ:4名
③	職員の資質の向上	1	専門職としての資質の向上を図り、専門性の高いサービスにする	・初任者研修:6月1名・チルダコース:8月1名 ・救急救命講習:6月2名 ・認知症ケアマネジメント養成研修:11月1名 ・部署間交流研修:12月・2月 ・介護予防従事者研修(口腔ケア):2月2名 ・地域福祉連絡会研修:8月・12月・3月 ・東濃支部研修:8月・12月
		1	利用される方や家族が安心・安全に利用していただけるように努めます	・リスクマネジメント委員会開催(1回/月) ・介護事故:14件(転倒14件)・苦情対応 ・車両事故:4件→安全運転講習会実施
④	安全管理の徹底	2	感染症の予防に努めます	・職員手洗い奨励(日常の声かけ・研修会参加) ・利用者手指消毒(来所時・食前・おやつ前) ・テーブル・手すり等の消毒
		3	災害時対応できるように努めます	・防災訓練の実施:10/9
		1	サービスの質の向上	・業務の見直し:月1回 デイ運営会議
⑤	健全経営の確保	2	ご利用者の確保や選ばれる施設作りに努めます	・生活相談員による施設外活動 (担当者会議等への参加・他事業所との交流)
		3	経費の見直し	・業務効率化を図るため、随時業務見直し実施
		⑥	29年度実績に対する成果と課題	◎業務の流れ・記録の効率化(IT化)を図り利用者個々に関わる時間を確保、また1日7回変更し活動のきっかけを作る(座る場所が固定され活動場所が118室のみであった)。 ⇒現時点ではきっかけづくりにすぎず、職員が利用者個々のニーズを把握し活動提供がまだできていない。さらなる職員の技術向上が求められる活動におけるリスク管理・ニーズの把握。相談員が利用者のニーズを把握し職員間で情報共有する努力が必要。 ◎日曜日定休日とし、介護職員の仕事への意向を支援することができた。 ⇒定休日による利用者減少は認められなかったが、利用者減少から新規利用者ではカバーできなかった。ただ今後、当地域の人口規模を考えると、利用者増を目標とするよりも介護予防を含めた法人内在宅サービス事業所として介護職員が柔軟に対応できる事業展開を検討する。

平成29年度 事業報告書

基本方針		事業部門	居宅介護支援事業所 シクラメン	
①	利用者中心のサービス提供 (利用実績含む)	要介護1～5 実績人数	1307名	(月平均 108名)
		要支援1～2 実績人数	259名	(月平均 21名)
		職員数	4、1人(加算Ⅱ)	129名(一人担当平均月/31件)
		計 画		取 組 み
②	地域福祉への貢献	1	地域を考え、地域を作る	① ごちゃまぜ会議への参加 (インフォーマル支援の開拓)
		2	認知症の方も安心して暮らせる地域・福祉と医療関係機関との連携	① RUN 伴+協力・参加
		3	在宅医療と福祉を考える事を地域へ発信	① 介護シンポジウム委員会の参加
		4	地域力の底上げ	① 地域福祉、医療の連携研修会の参加
③	職員の資質の向上	1	専門職として必要な情報収集	① 県居介協等研修会参加 ケアマネ部会(恵那・中津川)の参加
		2	居宅での情報共有・改善提案	① 週1回の居宅会議(朝礼での伝達)
		3	事例検討より学ぶ	① 見える事例検討会・地域個別会議の事例提供と参加
		4	障害分野の研修	① 難病支援者研修会の参加
④	安全管理の徹底	1	ケアマネサービスについて	① 運営規程・重要事項の見直し
		2	ケアマネの質の向上	① 法令順守・守秘義務
		3	利用者、家族が安心してサービスが受けられる	① 個人情報への漏えい防止への意識の徹底
⑤	健全経営の確保	1	サービスの質の向上、利用者から選ばれる居宅に努める	① 運営基準に沿った業務管理
				② 処遇困難な方の受け入れ・特定事業所加算継続
				③ 給付費適正化研修参加
成果と課題		<p>事業所加算を継続でとることが出来た。また主任ケアマネ1名資格取得が出来、2名となり、実習生の受け入れ事業所としての実績となった。より質の高い事業所として、引き続き地域に貢献できる事業所を目指します。</p> <p>来年度は効率の良い業務内容の見直しを課題とし、介護保険だけに頼らず地域の資源も活用し、利用者・家族がこの地域で安心して暮らせる事を一緒に考えていきたい。</p>		

平成 29 年度 事業報告書

事業部門		ヘルパーセンター																																																							
基本方針		<p>・土日の営業、早朝夜間対応がある事業所として、また特定地域加算事業所、特定事業所加算のある事業所として、ケアマネジャーとの連携を密にしなが、登録ヘルパーの活動により、出来る限り対応。ご利用者の意思、人格を尊重した活動内容、計画的な職員研修、定例ミーティングを実施し誠意を持ったサービス提供を実施。</p>																																																							
②	利用者中心のサービス提供 (利用実績含む)	<p>職員体制 管理者（1・兼務）常勤（2）常勤パート（1）登録（14・内特養との兼務2） サービス提供地域 中津川市（主に阿木地区） 恵那市（主に大井、長島、笠置、飯地、中野方、武並、三郷、岩村）</p> <p>利用者実績数（延べ回数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>57</td> <td>59</td> <td>59</td> <td>62</td> <td>60</td> <td>58</td> <td>60</td> <td>56</td> <td>53</td> <td>54</td> <td>53</td> <td>53</td> <td>684</td> </tr> <tr> <td>前年</td> <td>67</td> <td>67</td> <td>65</td> <td>63</td> <td>62</td> <td>63</td> <td>63</td> <td>61</td> <td>61</td> <td>62</td> <td>55</td> <td>54</td> <td>743</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 訪問延べ人数 8356人（前年-710件） 訪問時間合計：前年比 -378時間</p>														月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	件数	57	59	59	62	60	58	60	56	53	54	53	53	684	前年	67	67	65	63	62	63	63	61	61	62	55	54	743
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計																																										
		件数	57	59	59	62	60	58	60	56	53	54	53	53	684																																										
		前年	67	67	65	63	62	63	63	61	61	62	55	54	743																																										
計 画							取組み																																																		
②	地域福祉への貢献	1	地域のニーズに沿ったサービス提供					②	地域の関係機関との連携を密に実施。可能な限り提供可能時間帯におけるサービスの提供を行う。 年末年始休業中の特別対応開始 実績0件																																																
		2	障害者を家族に持つ高齢世帯への支援					①	障害者のうち介護保険申請者のみ支援あり																																																
③	職員の資質の向上	1	個別研修計画により、新人研修、スキルアップ研修を行い、質の高いサービス提供を行う					①	・スキルアップ研修実施。介護知識、技術の向上 多職種連携研修 参加																																																
								②	・地域包括支援センターや、居居協、地域福祉連絡会主催の研修へ参加																																																
④	安全管理の徹底	1	全職員健康診断 年1回 全職員細菌検査 年2回					①	11月実施																																																
								②	4月、10月実施																																																
		2	感染症予防					②	全職員インフルエンザ予防接種																																																
⑤	健全経営の確保	1	サービスの質の向上					②	研修参加し、感染予防に努めるマニュアルに沿ったサービス提供の実施																																																
								2	新規利用者の受け入れ					②	定例ミーティングにおける事例検討 各種研修会への参加・事業所内研修会実施																																										
								3	新規登録ヘルパーの養成					③	ケアマネジャーと連携し可能な限り対応 新規登録ヘルパー 採用なし																																										
⑥	成果と課題	成果	未参加向け会議設定によりミーティング参加率100%。 今年度事業所内研修を実施。					課題	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供責任者向け研修参加 ・障がい者ホームヘルプ事業については継続検討 ・早朝夜間の対応ができるヘルパーの確保 																																																

事業部門		グループホーム	
基本方針			
③	利用者中心のサービス提供 (利用実績含む)	<p>●1ユニット9名 利用率98% 1日利用平均8.8名 5/26退所者1名(特養)・6/5入所者1名・7/21退所者1名(特養)・8/16入所者1名・11/4～11/15入院者1名・3/1退所者1名(特養)・3/10入所者1名・3/16～入院者1名</p> <p>●入退所状況 退所3名 入所3名●4/22に家族会を開催、家族代表2名選出11/18家族会兼五平餅会を開催●中津川市のグループホーム部会に参加し部会長施設として他のGHとの連携を取るようにした。●運営推進会議6回開催 5/13・7/3・9/11・11/13・1/15・3/19●外部評価をNPO法人ひーすけつとにより実施1/18大きな指摘なく終了した。五感健康法を毎月1回、9月敬老会参加・阿木小学校運動会見学10月中学生体験学習・ラン伴12月福祉村焼き芋交流会、3月吊るし雛祭り見学など地域の方との交流を行った。今年度は外出行事(運動会)等が雨で中止になったり、2月はグループ外出がインフルエンザで中止したりした。</p>	
		計 画	取 組 み
②	地域福祉への貢献	1 キャラバンメイト	③ 10/3阿木小5年生 10/11阿木中2年生
③	職員の資質の向上	1 実務者研修	③ 1名受講
		2 各種研修	② 認知症高齢者介護職員研修・感染症研修会・中津川・恵那地域福祉連絡会研修・東海北陸ブロックカンントリーミーティング・認知症対応型サービス事業管理者研修
		3 月1回の事業所内研修	① 毎月テーマを決めて実施した。特養の施設内研修にもできるだけ参加をした。
④	安全管理の徹底	1 事故防止	② ・転倒事故7件 骨折事故なし ・ヒヤリハット14件、事故報10件 ・11/29家具等転倒防止金具取付
		2 感染症対策	① 敬愛会感染症マニュアルに準じて整備した。 2月インフルエンザ流行利用者6名、職員1名
		3 防災対策	② 避難訓練を特養に乗せて行う
			② 緊急伝言訓練3月
⑤	年間行事計画	1 季節感のある行事	④ 4月花見5月よもぎ餅作り6月日帰り旅行・朴葉寿司作り7月夏祭り8月流しぞうめん9月ぶどう狩り10月さんま焼き11月五平餅会12月忘年会1月初詣2月節分会3月吊るし雛見学
		2 誕生会	② 入居者の誕生日に合わせ行った。
		3 個別外出	③ 6月・10月・12月個別外出1名ずつ 2月グループ外出インフルエンザで中止

事業部門		大井シクラメン【デイサービス・ショートステイ】	
基本方針		計画	取組み
①	利用者の立場・視点に立ったサービス提供を第一に考えます。	①	リハビリテーション（デイサービス） <ul style="list-style-type: none"> ● 阿木シクラメンとの関係により、機能訓練指導員2人体制を維持し、2種の機能訓練加算を算定。 ● 介護職員主体で、生活機能維持向上を目指した生活リハビリ（施設外活動・ツボ・ツグ等の外出）を実施。（課題）『目的を見据えて生活リハビリを実施する。』という介護職員の指導・育成が出来なかった。
		②	個別レクリエーション <ul style="list-style-type: none"> ● 希望者による外出行事を、少人数で定期的実施。
		③	時間延長利用（デイサービス） <ul style="list-style-type: none"> ● 時間延長サービス利用者週間延べ人数19名。（前年度比-8人）日曜日は家族送迎可能者限定（課題）延長利用を目的に当事業所を利用する方もいるため、重要な利用者ニーズとなっているが、職員不足からデイサービス運営が配置出来ない日数が多く、超過勤務で対応した。
		④	月間行事（ショートステイ） <ul style="list-style-type: none"> ● 月一回程度、季節行事を実施。（課題）行事計画が不十分。デイサービス合同行事も考慮。
②	利用者から、信頼されるサービスを提供します。	①	介護事故ゼロのサービス提供（共通） <ul style="list-style-type: none"> ● 事故防止委員会の開催（1回/月） ● 事故28件（内ショートステイ19件）・ヒヤリハット56件（課題）配置が手薄のショート（夜間）利用中に多発傾向あり。ヒヤリハットを精査し、随時のミーティング等も必要。
③	基本理念を体现する為の人材を育成	①	キャリアアップ制度に応じた人材育成（共通） <ul style="list-style-type: none"> ● 職員各自が、業務目標を定めて取り組んだ。（課題）評価者によるPDCAが十分に出来ていなかった。
④	地域に情報を発信し、当施設が地域の福祉資源として活用される様、住民の理解を得ます。	①	広報誌の定期発行（共通） <ul style="list-style-type: none"> ● 大井シクラメン広報：3回/年発行（デイ・ショート利用者に配布） ● 飯地シクラメン広報：5回/年発行（飯地町全世帯（約220）に配布）
		②	大井シクラメン納涼祭開催（共通） <ul style="list-style-type: none"> ● 8/20[土] 開催。参加利用者30人（デイ18人・ショート12人）一般来場者約100人 ● （課題）進行・屋台販売等で連絡・打合せ不足による混乱あり。責任者と担当者の意思確認必要
⑥	環境整備（設備投資）	①	一般浴槽循環濾過器の取替工事（共通） <ul style="list-style-type: none"> ● 老化により故障、6/22に取り換え工事施工。（課題）社員寮時代（設置30年経過）の設備の為、浴槽及び室内のリニューアル必要
⑦	リハビリ型デイサービス飯地シクラメン	①	飯地町交流活動（デイサービス） <ul style="list-style-type: none"> ● 年間延べ利用人数530人（前年度比+248人） ● 地域交流事業への参加（協賛） <ul style="list-style-type: none"> ・ 6/17 飯地ほたる祭り出店（ヨコ釣り・ホーリキッチ） ・ 8/19 飯地夏祭り出店（UFOキッチャー・あみだくじ） ・ 3/4 飯地ぶんか祭りに出店（ホップ・トッ・干本引き） （課題）予防事業対象者におけるサテライトの位置づけと、同地区内宅老所との連携必要
成果と課題		※ショッピングや・喫茶飲食などの行事は、一部のケアマネージャーから評価された反面で、介護事故の不安や日中の電話対応などの不備を指摘されている為、改善必要 ※キャリアアップ制度に取り組んだが、PDCAが十分に出来ていないために成果が思うようにならなかった。C（評価）とA（改善）を行うための評価者（指導者）育成が課題である。	
		デイサービス	リハビリを含めた総実績は増えたが本体の実績は下がった。施設的环境改善やサービス提供体制の充実、特色ある運営とPRが今後の課題。
		ショートステイ	利用実績に応じた受け入れ態勢の充実と、事故防止への取組みが急務

事業部門		中津川市シクラメン地域包括支援センター		
基本方針		計 画	取 り 組 み	
①	利用者中心のサービス提供 (利用実績含む)	1	総合相談事業	① 相談件数【266件/年】(内訳/訪問170件、来所23件、電話73件)
				② 相談実人数【131人/年】
		2	高齢者実態把握事業	① 把握件数【149件/年】
		3	台帳・記録の整備	① 高齢者台帳・記録の整備、管理
		4	各種サービスの情報提供及び利用啓発と調整	① 食のアセスメント事業(新・再)【15件/年】
②	地域福祉への貢献	1	地域関係機関との連携	① 相談協力員懇話会の開催【1回/年】
				② 関係機関会議への出席
				③ 地域包括支援ネットワーク会議及び事務局会議の開催
				④ 地域ケア会議、地域ケア個別会議の開催【6回/年】
				⑤ 生活・介護支援サポーターに関わる取り組み、定例会の開催【4回/年】
				⑥ NPO 法人阿木ふるさと福祉村による事業への協力
		2	地域住民に対し地域づくり、介護予防等への働きかけを行う	① 各種介護予防教室の開催【27回/年】
				② 介護予防体操実践指導士養成研修【2回/年】
		3	認知症に関する情報提供及び理解の普及啓発を図る	① 介護者の集い開催【4回/年】
				② 認知症サポーター養成講座開催【4回/年】
③ RUN 伴協力、参加				
4	虐待防止、権利擁護等の推進	① 消費生活相談室、成年後見制度への相談及び連絡等の連携		
③	職員の資質の向上	1	各種研修会への参加	① 市支援センター部会、包括職員研修会、その他研修への参加
		2	見える事例検討会等施設内研修の開催	① 未達成
④	安全管理の徹底	1	地域住民等が安心して利用できる様に努める	① 守秘義務等法令の順守
⑤	健全経営の確保	1	サービスの質の向上	① 安定した体制の確保
⑥	その他	1	その他の取り組み	① 機関紙発行、ホームページの作成と更新
成果と課題		地域包括受託1年目。継続してきた取り組みについては、各関係機関と連携し実施できた為、次年度はより幅広い視野で方向性をしっかりと持ち取り組みを行う。対して、地域ケア個別会議等新たに加わった業務について、取り組みはできたものの、次年度はより質の高いものにしていく。		